

コンピュータとプロジェクタ



使用方法について

A 映像を投写するために

はじめに

手順を確認しましょう

- 1 使用機器や必要物品を準備する。
- 2 使用場所に置き，各機器をコンセントに接続する。
- 3 R G Bケーブルで接続する。
- 4 電源を入れる。
- 5 コンピュータの画面をプロジェクタから投写させる。
- 6 映像を調節する。

1 使用機器や必要物品を準備する

必ず準備するもの

コンピュータ
プロジェクタ
R G Bケーブル

必要に応じて準備するもの

電源用延長コード
プロジェクタ台
長めのR G BケーブルかR G Bケーブル同士をつなぐ中継アダプタ

2 使用場所に置き，各機器をコンセントに接続する

各機器を，使用したい場所に置き，コンセントに接続します。近くにコンセントがない場合は，電源用延長コードを使って，接続します。

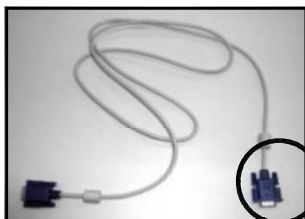


接続

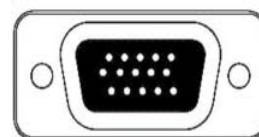


3 RGBケーブルで接続する

< RGBケーブル >



< RGBプラグ(D-SUB15PIN) >



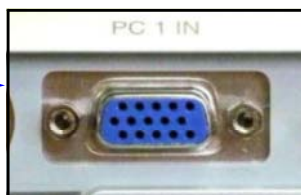
ピンが15本あります。

RGBプラグを、RGB端子に接続します。

< プロジェクタ側RGB端子 >



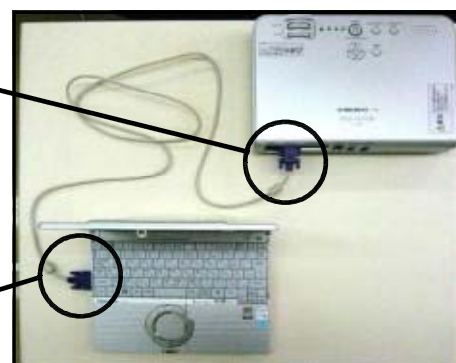
接続



< コンピュータ側RGB端子 >



接続



RGBケーブルのどちら側の端子も形が台形()になっています。
差し込む向きに注意しましょう。

コンピュータとプロジェクタが離れている場合は、長いRGBケーブルまたはRGBケーブル同士をつないだものを使用します。RGBケーブル同士をつなぐためには、中継アダプタを使用します。

< 中継用超小型アダプタ >



4 電源を入れる

コンピュータやプロジェクタの電源には、国際的に規格化されたマークが付いています。このマークが付いているボタン等を見つけましょう。



電源を入れ、コンピュータを起動させます。

< コンピュータ電源ボタン >



スライドさせて電源を入れる。

< コンピュータが起動 >



電源を入れ、プロジェクタから投写できるようにします。

電源ボタンを押す → 電源がオンになる → 投写できる状態



赤色



緑色

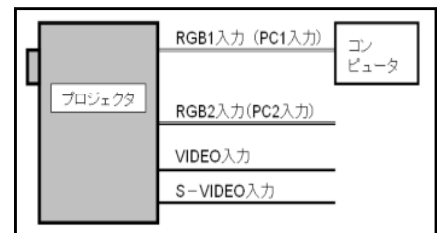


5 コンピュータの画面をプロジェクタから投写する

プロジェクタ側の操作 ~ プロジェクタをRGB入力(PC入力)にします。

プロジェクタへの入力信号を選択します。コンピュータをプロジェクタのRGB1(PC1)入力端子に接続しましたので、RGB1(PC1)からの入力信号を選択します。

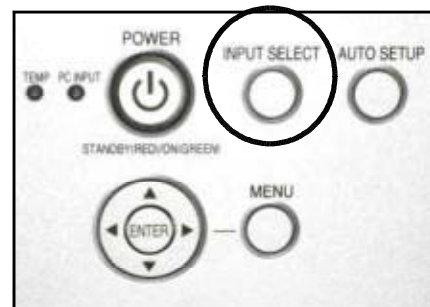
プロジェクタ本体やリモコンにある「入力選択ボタン (INPUT SELECT)」や「ダイレクト入力選択ボタン (DIRECT INPUT SELECT)」を押して設定します。入力信号が1つだけの場合、プロジェクタが自動的に入力選択を設定してくれるものもあります。



< プロジェクタの操作ボタン >

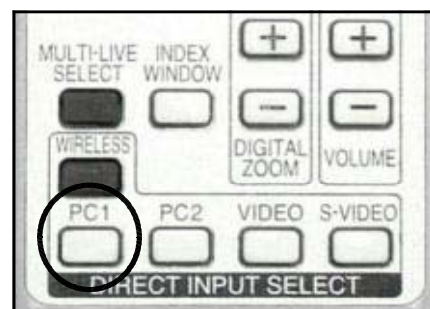
プロジェクタ本体にある「入力選択ボタン (INPUT SELECT)」を押し、RGB1(PC1)入りに設定します。

押す毎に、入力信号がRGB1, RGB2, VIDEO入力等に切り替わります。



< リモコンの操作ボタン >

リモコンにある「ダイレクト入力選択ボタン (DIRECT INPUT SELECT)」のRGB1入力 (PC1入力) を押し設定します。

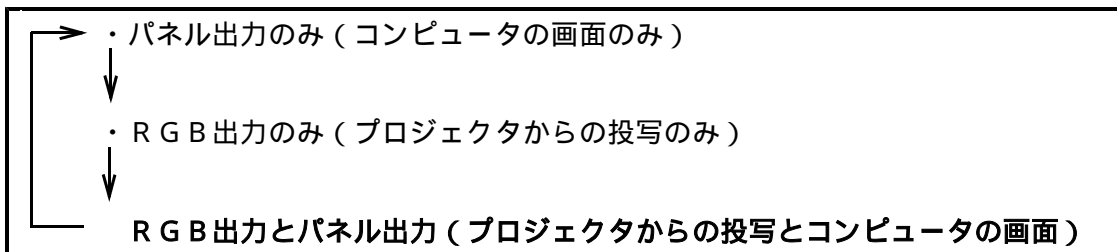


コンピュータ側の操作 ~ R G B 端子から信号を出力できるようにします。

コンピュータの画面(パネル)に映っている映像を,プロジェクタからも投写できるように,コンピュータのR G B 端子から信号を出力できるように設定します。出力方法の設定は,キーボードにある「Fn」キーと□(または□/□)のマークがあるキーを使います。

「Fn」キーを押しながら□のマークのあるキーを押します。押す毎に出力方法が切り替わるので, R G B 出力とパネル出力になるように設定します。これでコンピュータの画面と同じ画面がプロジェクタから投写されます。

出力方法は以下のように切り替わります。



□のマークがあるキーは,メーカーによって異なりますが,大抵ファンクションキーの中にあります。

コンピュータメーカー	出力方法切り替えキー	コンピュータメーカー	出力方法切り替えキー
Panasonic	「Fn」 + 「F3」	EPSON	「Fn」 + 「F8」
NEC		DELL	
TOSHIBA	「Fn」 + 「F5」	SONY	「Fn」 + 「F7」
SHARP		IBM	
HP		Apple	「F7」
FUJITSU	「Fn」 + 「F10」	その他	「Fn」 + 「□」

<コンピュータのキーボード>



出力方法をRGB出力とパネル出力にすると、コンピュータと同じ画面が、プロジェクタから投写されます。

<コンピュータ画面>



<スクリーン>



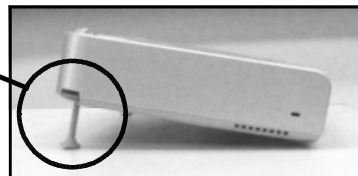
6 映像を調節する

プロジェクタの角度、映像の大きさとピントを調節します。

コンピュータの画面がプロジェクタから投写されたら、スクリーンの大きさと高さに合わせて、プロジェクタの角度、投写した映像の大きさ、ピントの調節を行います。

<プロジェクタの角度調節>

アジャスター脚
角度を調節します。



<大きさとピントの調節>

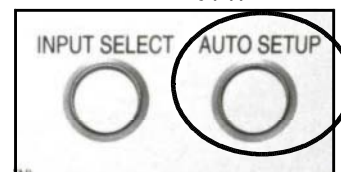
FOCUS (フォーカス)
ピントを調節します。
ZOOM (ズーム)
大きさを調節します。



<自動補正機能>

プロジェクタの中には、スクリーンに合わせて投写する映像の表示位置を自動的に調節する「自動補正 (AUTO SETUP)」機能がついているものがあります。プロジェクタ本体やリモコンに、「自動補正 (AUTO SETUP)」のボタンがあります。プロジェクタの角度、映像の大きさ、ピントを合わせた後、ボタンを押すと、投写する映像の表示位置の最終調整 (微調整) ができます。

<プロジェクタの操作ボタン>



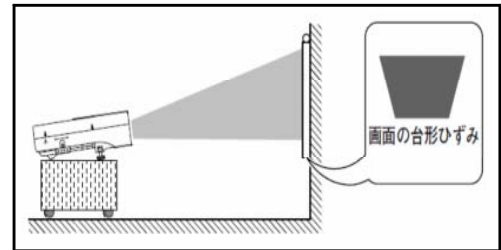
<リモコンの操作ボタン>



台形補正を行います。

スクリーンとプロジェクタの位置や角度により、
投写された映像が、台形になることがあります。

このときは台形補正を行います。メニュー画面
から台形補正を選択し映像を調整します。

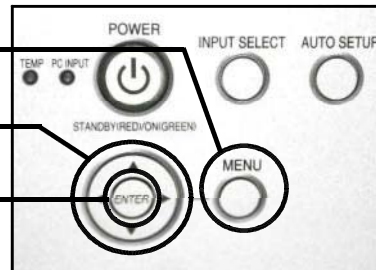


< MENUボタンを押し、メニュー画面を表示する。 >

MENUボタン

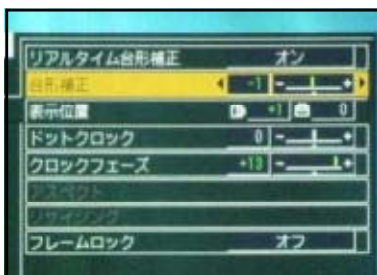
方向キー

ENTERキー



< 方向キーで台形補正を選択し、画面を調節し、ENTERキーを押す。 >

メニュー画面



台形補正の前の画面



台形補正の後の画面



B 音声を使用するために

はじめに

投写された映像とともに、音声を使用するためには主に3つの方法があります。

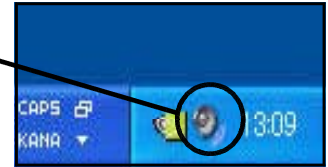
- 1 コンピュータから音声を出す・・・配線することなく音声を出せます。しかし、教室等で使用するには音量が、不足する場合があります。
- 2 プロジェクタから音声を出す・・・コンピュータよりも大きな音量にすることができます。教室全体で音声を聞くことができます。
- 3 外付けのスピーカーから音声を出す・・・非常に大きな音量まで出すことができます。ただし、事前に外付けスピーカーを準備する必要があります。

1 コンピュータから音声を出す

コンピュータに内蔵されているスピーカーから音声を出力します。

音量はタスクバーの中にあるスピーカーの形をしたアイコンをクリックし、スライダーで調節します。

クリックします。



スライダーを動かして、音量を調節します。



2 プロジェクタから音声を出す

コンピュータとプロジェクタを音声用のミニプラグケーブルでつなぎ、プロジェクタに内蔵されているスピーカーから音声を出力します。

ミニプラグケーブル



ミニプラグ



ミニプラグをコンピュータのヘッドフォン出力端子と、プロジェクタのAUDIO入力端子に接続します。

<コンピュータ側ヘッドフォン出力端子>

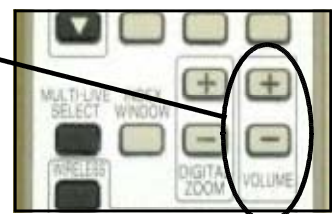


<プロジェクタ側AUDIO入力端子>



音量の調節はコンピュータ側プロジェクタ側、どちらも行いますが、コンピュータ側を一定にしてプロジェクタ側で調節すると便利です。プロジェクタの音量は、リモコンにあるボタンで調節します。

プロジェクタのリモコンで音量(VOLUME)を調節します。



3 外付けスピーカーから音声を出す

コンピュータに外付けスピーカーを接続し音声を出します。スピーカー自体も電源につなぐようなものであれば、非常に大きな音量まで出すことができます。

コンピュータのヘッドフォン出力端子に外付けスピーカーのミニプラグを接続します。音量は、コンピュータ側で調節しますが、外付けスピーカー側にもツマミがあり、音量が調節できるものもあります。



外付けスピーカー

留意点について

A プロジェクタから画面が投写されないとき 画面が途中で切れているとき

1 画面が投写されない原因

プロジェクタのパネル解像度と、コンピュータのディスプレイ解像度が一致していないことが原因です。

プロジェクタからコンピュータと同じ画面が投写されないときは、まず、コンピュータとプロジェクタが正しく接続されているか確認します。次に、映像の信号がコンピュータから出力され、プロジェクタに入力される設定になっていることを確認します。接続や設定する方法は、使用方法「3 RGBケーブルで接続する」「5 コンピュータの画面をプロジェクタから投写させる」のところに記載してありますので再度確認しましょう。

正しく接続され、正しく設定しても投写されないときは、プロジェクタのパネル解像度とコンピュータのディスプレイ解像度が一致していないことが考えられます。特に、コンピュータのディスプレイ解像度がプロジェクタのパネル解像度より大きく、プロジェクタのパネル解像度を超えた信号が入力された場合、プロジェクタの種類によっては、投写しない、または、正常に投写できない場合があります。